

CPL (Certified Professional Logistician) の試験問題に挑戦

前回のおさらい

Q1 “X理論”、“Y理論”というマネジメントコンセプトを提唱したのは誰か？

- a. ダグラス・マクレガー
- b. エルトン・メイヨー
- c. レンシス・リッカート
- d. フレデリック・ハーツパーク

Q2 対象システムの一生に関わるライフサイクルコストは次のどれか？

- a. 研究開発コスト、生産・建設コスト、運用・保全コスト、改良・更新コスト
- b. 研究開発コスト、生産・建設コスト、運用・保全コスト、退役・撤去コスト
- c. 研究開発コスト、試験・評価コスト、運用・保全コスト、退役・撤去コスト
- d. 研究開発コスト、試験・評価コスト、運用・保全コスト、改良・更新コスト

先月号で紹介したCPL模擬試験の問題は「システムマネジメント」からの設問でした。いかがでしたか。

Q1の正解は[a.]ダグラス・マクレガーです。マクレガー(McGregor, Douglas 1906-1964)はデトロイト生まれで、ハーバード大学で文学博士、ウエイン大学で法学博士を取得。『企業の人間的側面(The Human Side of Enterprise)』(高橋達男訳)において人間に関する2つの仮設「X理論・Y理論」を展開しました。

“X理論”は、人はもともと仕事が嫌いであり、そういった人を働かせるためには、にんじん(=賃金)などの刺激とムチ(=処罰)が必要と考えるもので、伝統的経営管理の基礎に流れていた考えです。これに対して“Y理論”というのは、人は条件しだいで仕事を満足の源泉と考えるし、得られる報酬しだいで目標の達成に献身すると共に、積極的に責任を取ろうと考えるもの。X理論からの転換を志向するものです。マクレガーはY理論に立脚することにより、経営方針や施策の新たな分野が展開することになると主張しました。

エルトン・メイヨー(Mayo, Elton 1880-1949)はオーストラリア生まれ。人間関係論の思想的基盤の形成者として著名なアメリカの社会学者。レンシス・リッカート(Likert, R. 1903-1981)はリーダーシップと集団の生産性の関係を実証的に研究しました。フレデリック・ハーツパーク(Herzberg, Frederick 1923-)はニューヨーク生まれ。アメリカの心理学者で職務満足と不満足の原因についての研究を行い、動機付け衛生理論を提唱しました。(以上の解説は「経営学大辞典」(中央経済社)、「現代経営学辞典」(同文館)を参考にしました)

Q2の正解は[b.]システムの一生を4つのフェーズに分けるならば、退役・撤去は外せない。[a.]の改良・更新はシステムのライフを延ばすものであろう。[c.]はシステムの最初(研究開発)から最後(退役・撤去)までを対象にしているが、肝心の生産・建設が抜けている。試験・評価も重要ではあ

るが、研究開発のフェーズに入れても良い。[d.]は生産・建設、退役・撤去が抜けている。改良・更新はmodification and refurbishment、退役・撤去はretirement and phase outの訳。

SOLE東京支部フォーラム報告

SOLE東京支部では毎月「フォーラム」を開催し、ロジスティクス技術やマネジメントに関する活発な意見交換や議論を行い、会員相互の啓発に努めています。

8月は米国アリゾナ州のフェニックスで開催された国際ロジスティクスシンポジウムに参加しましたので、フォーラムは休みました。また、9月の例会ではSOLE2002の報告が行われましたが、これをもって2001年2002年のフォーラムは終了しました。SOLE東京支部では10月に総会を行い、11月からフォーラムの新しいシリーズを開催します。

このフォーラムはSOLE東京支部の会員を対象としたものですが、特定月のフォーラムのみの参加も可能です。SOLE東京支部についてのお問合せ、ご意見はsole_consult@jmac.co.jpまでお願いします。

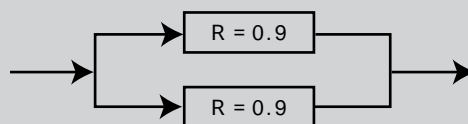
第19回 CPLの試験問題に挑戦

今回は「システム設計と開発」からの出題です。

Q1 保全性分析への主要なインプット情報として正しいのは次のどれか？

- a. 運用支援概念と要求；総合的な定量保全性要求；要員サブシステムの限界、特徴、説明；計画された施設、訓練プログラム、ツールの即応性；コスト制約；システムに対する研究とレポート；標準ツールと用具
- b. 運用支援概念と要求；総合的なパフォーマンス要求；要員サブシステムの限界、特徴、説明；計画された施設、訓練プログラム、スキル、機器とツールの即応性；コスト制約；システムに対する研究とレポート；標準ツールと用具
- c. 運用支援概念と要求；総合的な定量保全性要求；要員サブシステムの限界、特徴、説明；計画された施設、訓練プログラム、スキル、機器とツールの即応性；コスト制約；システムに対する研究とレポート；標準ツールと用具
- d. 運用支援概念と要求；総合的な定量保全性要求；要員サブシステムの限界、特徴、説明；計画された施設、訓練プログラム、スキル、機器とツールの即応性；環境制約；システムに対する研究とレポート；標準ツールと用具

Q2 次のような信頼性ブロック図で表されるシステムの信頼度は次のどれか？



- a. 0.96
- b. 0.81
- c. 0.90
- d. 0.99

今回の設問の答えと解説は、本誌2002年11月号の当コーナーでお読みいただけます